

自主防災会向け

ボウサイ通信

令和3年12月号

発行：豊橋市防災危機管理課

電話：51-3126

地震による
液状化は怖い

豊橋市でも液状化ハザードマップが発表されています

大地震の際に起きる「**液状化現象**」をご存じですか？
地震による被害はまず、揺れによる**建物の倒壊**、**家具の転倒**があり、大陸プレートが跳ね上がることによる**津波**、揺れによる**がけ崩れ**や、**火災**などがあります。さらに知っておいていただきたい、**液状化現象**についてのお話です。

実は一番イメージを付けにくい被害のひとつであると思いますので、一度詳しく調べてみて欲しいです。



液状化は言葉のとおり、地盤が液体の様に流動的になってしまう現象のことです。砂が水と一緒に噴き出してくる**噴砂**や**噴水**が発生し、道路が沈下したり、段差ができるなどの被害が生じます。さらに、液状化した地盤は建物を支える力が小さくなってしまいますので、基礎がしっかりしていない家屋やビルなどの重い構造物は沈下したり傾斜したりしてしまいます。また、液状化した地盤は泥水のようなになるので、マンホールや下水管などのように中が空洞で軽い構造物は浮き上がってしまいます。

液状化はもともと海や川であった土地で発生する確率が高いとされています。しかし、2018年の北海道胆振東部地震（最大震度7）の際には内陸部の被害予測のされていない地域でも起きてしまったということを豊橋にも置き換えて考えて欲しいと思います。



↑写真)札幌市内での液状化被害 地震の際にどこで起きるかわからない。想定外の場所で起こる？

ぜひ
知って
欲しい

自然災害のあとのおはなし

通常の防災訓練では、災害が起きる前に**自助**として準備してくださいね。発生後も**避難所**での生活をイメージしてくださいね。というお話がほとんどです。しかし豊橋市ではさらに**その後の計画**もされている事を、市民の皆さんで知っているという方は少ないのではないのでしょうか。実



は、身近な場所でこんな事に使われる予定というのを知っておく事で、さらに防災イメージは沸くのではないのでしょうか？

市内には大きい、小さいはありますが非常に多くの公園があり、それらのほとんどが災害時には別の使われ方がされる計画です。

災害復旧のために 用途はいろいろ

大きな公園は主に救援部隊やボランティアの**活動拠点**となります。また郊外の公園等は**廃棄物仮置場**や、**バス車両停車場**等に使われます。住宅街にある地区体育館は**物資受入拠点**となり、いわゆる「近所の公園」といえるような小型の広場や緑地などの公園のほとんどは、**廃棄物集積所**として利用され、その後**応急仮設住宅建設用地**へと移行していきます。

ひとつひとつの公園で用途は様々ですので、詳しく確認したい時には、【豊橋市役所】のホームページの【防災危機管理課】から【豊橋市地域防災計画】にて公表しております。災害復旧用オープンスペース候補地一覧と検索してください。紹介した用途以外にもありますので、一度確認してみてください。



防災会
NEWS
ニュース

栄校区

南部中学校にて実施

例年は**小学校**でやっていたが、**中学校**も避難所だよな？の発想で **変化！**

2020 はコロナ中止からの

2021 はコロナ対応 避難所開設訓練

市内の全避難所に感染症対応をした【避難所開設BOX】が2021年3月に配備され、2021年度の校区防災訓練は各地で避難所開設訓練が実施されております。**栄校区**も同様に**リアル避難所を意識**しての防災訓練を提案し、少し変化を求めて**小学校ではなく中学校での実施**となりました。これまでは小学校でやるのが当たり前でしたが、同じ第二指定避



難所であることから、南部中学校でもやってみよう！という発想です。実は身近に配備されている、飲料水としての耐震性貯水槽の存在を、地元の人も意外と知らない事が多く、再発見のできる訓練になったと思います。

新しい活動を紹介します
情報募集

新しい取組や、
おもしろい取組

防災会ニュースで紹介させていただきます。

豊橋市役所 防災危機管理課 TEL 51-3126

豊橋市防災キャラクター

「**ボウサイマンズ**」

応援よろしくお願いします！

